

東北地方 1か月予報

(8月28日から9月27日までの天候見通し)

平成16年8月27日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

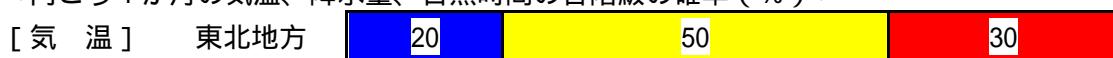
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わりますが、期間の前半は、気圧の谷や前線の影響で天気のぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か低い、3~4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月28日(土)~ 9月27日(月)

1週目 : 8月28日(土)~ 9月 3日(金)

2週目 : 9月 4日(土)~ 9月10日(金)

3~4週目 : 9月11日(土)~ 9月24日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月3日

3か月予報:9月22日(水) 14時00分

寒候期予報:9月22日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	19.9	241.7	125.3	21.9	20.7	18.9
新庄	19.8	167.2	122.8	22.3	20.9	18.6
若松	20.7	141.3	138.8	23.3	21.8	19.5
深浦	19.7	183.4	163.0	21.8	20.6	18.7
青森	19.5	131.5	167.3	21.6	20.5	18.5
むつ	18.5	185.1	147.4	20.5	19.4	17.6
八戸	19.2	181.7	148.7	21.1	20.0	18.3
秋田	20.6	192.6	164.8	23.0	21.6	19.5
盛岡	19.0	178.6	129.2	21.5	20.1	17.9
宮古	19.1	241.3	129.1	21.1	19.9	18.2
酒田	21.1	200.4	160.3	23.4	22.1	20.1
山形	20.5	150.8	137.0	23.1	21.6	19.3
仙台	20.9	227.6	125.4	23.0	21.8	20.0
石巻	20.5	173.0	140.1	22.5	21.4	19.5
福島	21.4	177.8	121.2	23.9	22.5	20.3
白河	19.8	239.3	119.3	22.1	20.8	18.6
小名浜	21.8	209.5	147.7	23.6	22.6	20.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.4	85~113	95~107
東北日本海側	-0.6~+0.5	86~109	96~108
東北太平洋側	-0.5~+0.3	84~116	92~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.7	-0.8~+0.6	-0.4~+0.3
東北日本海側	-0.7~+0.8	-0.8~+0.7	-0.5~+0.3
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.7~+0.7	-0.5~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年8月27日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月28日~9月27日):

天気は数日の周期で変わりますが、期間の前半は、気圧の谷や前線の影響で天気のぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(8月28日~9月3日):

期間の中頃までは、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の所が多いでしょう。その後は高気圧に覆われて概ね晴れる見込みです。

なお、台風第16号の進路によっては予報が大きく変わることがありますので、最新の台風情報に留意して下さい。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(9月4日~9月10日):

前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3~4週目(9月11日~9月24日):

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

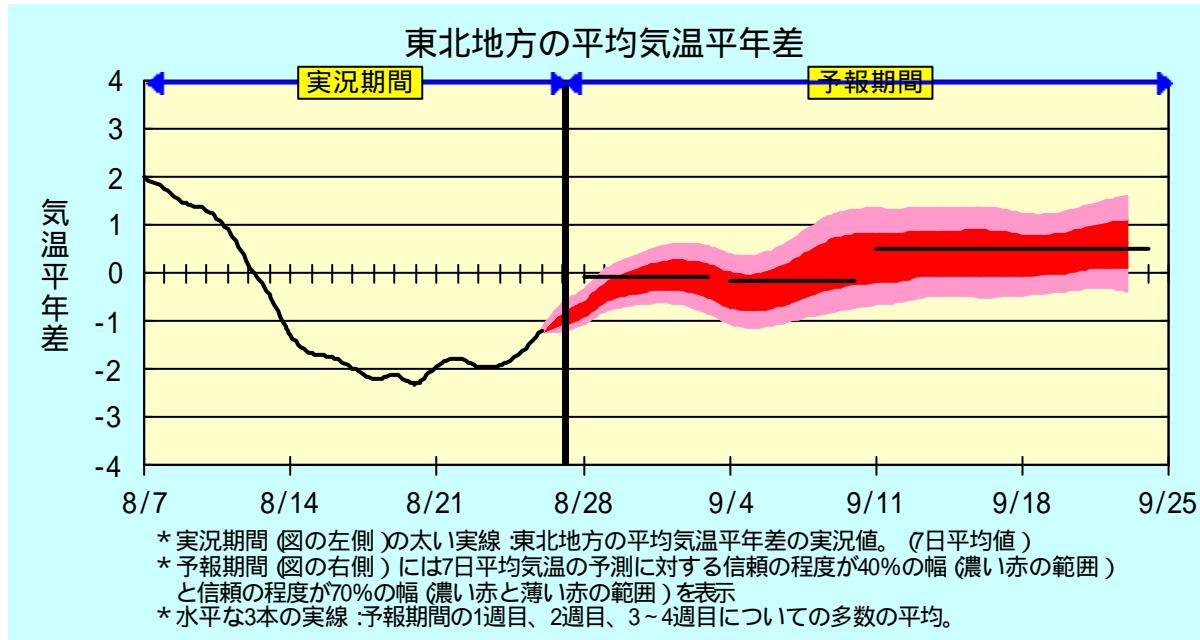
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.0日	3.9日	3.3日	6.8日
東北太平洋側	12.2日	3.3日	2.8日	6.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目と2週目を「平年並」、3~4週目を「高い」と予想している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か低い」、3~4週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

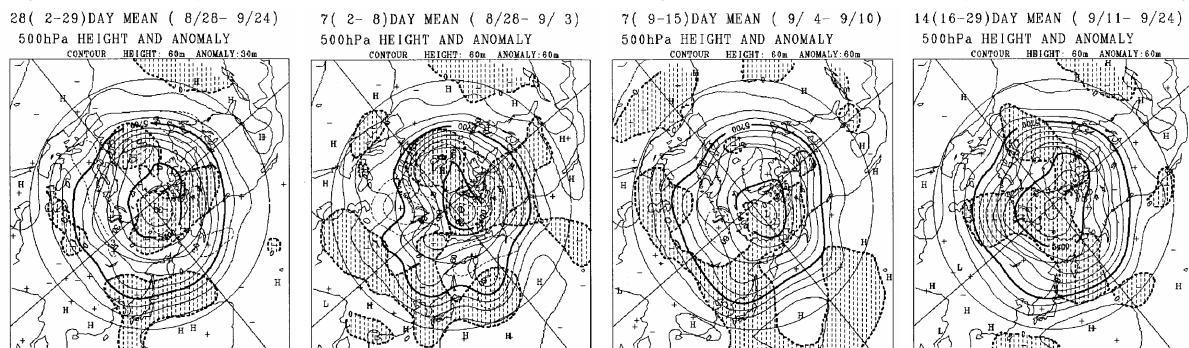


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近が気圧の谷となり負偏差に覆われる。亜熱帯高気圧の日本付近への張り出しが弱い。

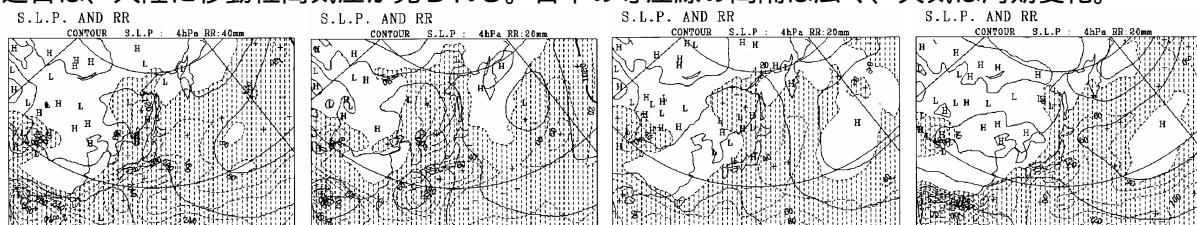
1週目は、日本の東が気圧の尾根、朝鮮半島付近が気圧の谷となる。日本付近は負偏差に覆われる。2週目は、気圧の谷が日本付近で深まり負偏差に覆われる。一時寒気の影響を受ける見込み。3~4週目は、大陸からの正偏差が日本付近を覆う。偏西風の流れは順調で、天気は周期変化。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近の等圧線の間隔は広く、天気は周期変化。日本の南海上にまとまった降水域が見られる。

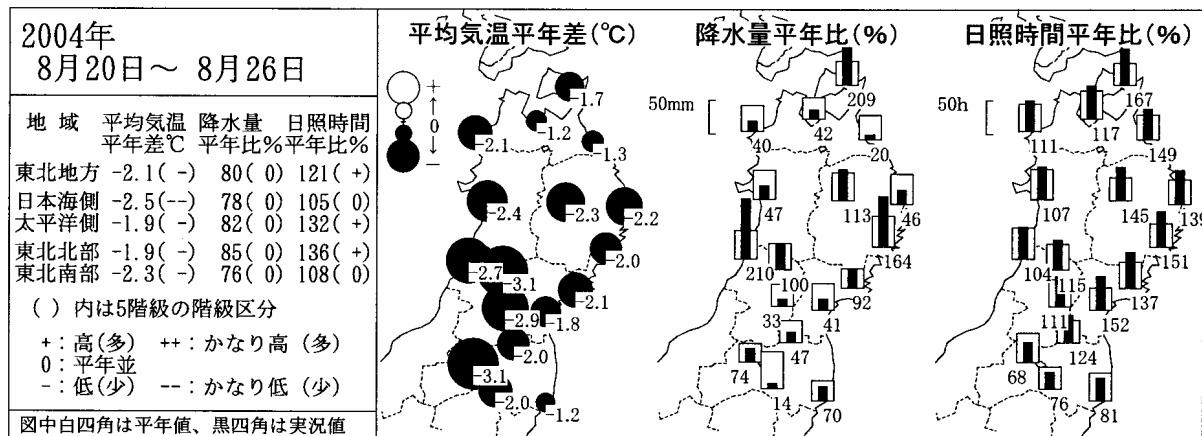
1週目は、南西諸島に台風に対応する気圧の谷が見られる。日本の南海上と沿岸州にはまとまった降水域。2週目は、太平洋高気圧は日付変更線付近で、日本付近への張り出しが弱い。3~4週目は、大陸に移動性高気圧が見られる。日本の等圧線の間隔は広く、天気は周期変化。



4. 最近1週間（8月20日～8月26日）の天候の経過

20日は台風第15号が青森県を横断したため、日最大瞬間風速が酒田39.9m/s(SSW)、秋田41.1m/s(SW)、大船渡28.2m/s(WNW)、八戸39.2m/s(SW)、むつ21.3m/s(E)といずれも8月の極値を更新する暴風となり、各地で大きな被害が発生した。また、23~24日は低気圧や前線が東北地方を通過したため曇りや雨となった。その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れた。

平均気温は東北日本海側でかなり低く、東北太平洋側で低い。降水量は平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）